

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-508892 (P2005-508892A)  
 【公表日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-014  
 【出願番号】特願 2003-521270 (P2003-521270)  
 【国際特許分類】

**C 0 7 K 14/47 (2006.01)**  
**A 6 1 L 2/18 (2006.01)**  
**A 6 1 P 3/02 (2006.01)**  
**A 6 1 P 7/00 (2006.01)**  
**A 6 1 P 35/00 (2006.01)**  
**A 6 1 P 39/02 (2006.01)**  
**B 0 1 D 15/08 (2006.01)**  
**B 0 1 D 61/14 (2006.01)**  
**C 0 7 K 1/18 (2006.01)**  
**C 0 7 K 1/34 (2006.01)**  
**A 6 1 K 38/16 (2006.01)**

【F I】

C 0 7 K 14/47  
 A 6 1 L 2/18  
 A 6 1 P 3/02  
 A 6 1 P 7/00  
 A 6 1 P 35/00  
 A 6 1 P 39/02  
 B 0 1 D 15/08  
 B 0 1 D 61/14 5 0 0  
 C 0 7 K 1/18  
 C 0 7 K 1/34  
 A 6 1 K 37/04

【手続補正書】  
 【提出日】平成 17 年 8 月 5 日 (2005.8.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 10】

出発材料が粗血漿プロテイン画分である、請求項 1 ～ 8 のいずれかによる方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 19

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 19】

薬物、例えばパラセタモール中毒に対して使用するための、請求項 15 ～ 18 のいずれかによる製剤。

【手続補正３】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項２０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項２０】

ビタミンＤの欠乏または中毒に関する疾病に使用される、請求項１５～１９のいずれかによる製剤。